



植柳の風

植柳小学校 校長室便り
平成28年4月5日 NO. 1

縁ありて花開き 恩ありて実を結ぶ

4月1日（金）早朝、小雨が降る中、植柳小学校の正門から入った。旧講堂や裁柳園、校舎周辺をしばらく散策し、この学校や地域に流れる空気の暖かさを感じていた。

このたびの定期人事異動で、本校に着任した。植柳小学校というと、明治7年創立、140年の歴史と伝統を誇る学校であり、多くの傑出した人材を輩出した学校で知られている。その学校に赴任したことの喜びとともに、この学校でこれから出会う259人の子どもたち、そして自分も含めて24名の先生方、さらに植柳小校区の保護者や地域の方々との出会いに、心のときめきを抑えることができない。



冒頭の「縁ありて花開き、恩ありて実を結ぶ」という言葉は、経営の神様と呼ばれる松下幸之助氏の言葉と言われているが、もともとは仏教の教えとの説もある。たくさんの県内の小学校・中学校がある中で、この八代市の植柳小学校で勤務することになった私たちの出会いはけして偶然ではないだろう。この出会いを縁に変え、そして互いに一致協力することで子どもたちの夢を大きく開かせ、保護者や地域の信頼や負託に応えていきたいと考える。

よく年度のはじめのスタートは、船の出港に例えられるが、平成28年度「チーム植柳小」丸の船出がいよいよ始まる。船の帆をピンと張って風をいっぱいに受けながら前進していきたい。いつも穏やかな波風の時ばかりではない。向かい風に悩まされる日や、嵐や風雨にさらされる日もあるかもしれない。しかし、皆で知恵を出し合い、そして昨年からの引き継ぎ事項（？）であるATM（明るく、楽しく、前向きに）という言葉と、私のモットー「KKE（輝く子どもの笑顔づくり）」を合言葉に、緊張と期待を胸にいざ出港したい。

1日（金）、午後5時頃、一人の男性の姿が玄関にあった。20年以上も前に、松高小学校でご指導いただいた田浦校長先生だった。開口一番「先生、この度は植柳小学校への転勤、おめでとうございます。こん学校は、そうよかつぱい。子どもも地域も一生懸命だけんな。わしも毎週日曜日の朝、ここグランドでソフトボールを地域の人たちと何十年とやってきたばってん、よかところバイ。部員が30人ぐらいおるけん、溝さらいや草刈り、なんか手がほしいときはいつでん言いなっせ！応援するバイ。」笑顔で語られる校長先生の言葉に、胸が熱くなることを感じていた。「ありがとうございます。校長先生。お世話になります。」

「植柳愛」という言葉が頭に浮かんだ。この学校の歴史と伝統、地域から寄せられる学校への愛情や期待の大きさを感じたこの数日間だった。まずは、人を知り、地域を知り、「植柳愛」を自分自身の中で醸成しながら、本校教育の発展・充実のために何ができるか、何をしなければならないかを考えていきたい。